

# 平成28年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ①」

- 1 趣 旨 自然体験を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 平成28年4月23日（土）～24日（日） 1泊2日
- 3 対 象 者 キャンプや自然体験に興味のある家族
- 4 募集定員 12家族60人
- 5 参 加 者 11家族42人（応募数：13家族50人）  
※参加予定の13家族から、2家族が体調不良等のため不参加
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員 ボランティア3人
- 7 日程と主な活動

4月23日（土）	4月24日（日）
14:00 受 付（太陽の家）	6:00 起 床
14:30 出 会 い の つ ど い 歓迎のあいさつ    家族紹介 自然の家職員・ボランティア紹介 オリエンテーション	6:30 テント撤収
15:00 テント設営	7:30 朝 食（レストラン）
16:30 野外炊飯「カレーライス」	9:00 活 動「山菜摘みハイキング」
20:05 入 浴	11:30 昼 食「山菜天ぷらうどん」
21:00 自由交歓    家族間交流	12:30 別れのつどい 送別のあいさつ
22:00 消 灯	12:50 解 散

## 8 事業運営

- (1) 家族の利用が少ない時期に、季節感を取り入れて楽しめる活動となるようプログラムを構成した。
- (2) 家族同士の交流が行えるよう、余裕を持った時間配分とした。
- (3) 荒天の予報だったため、ブルーシートを使ってひさしをつくり、全員が濡れずに活動できるような空間を確保した。

## 9 事業の実際

- (1) テント設営については、濡れないように屋根の下で行い、子供の集中力が散漫にならないよう配慮した。
- (2) 野外炊飯では、特にナタ等の刃物の扱いについて、丁寧に説明するとともに、必ず大人と一緒に活動するよう注意喚起し、安全に活動できた。



(3) 雨天のため、十分に体を動かす機会がなかったため、夜の入浴前後にプレイホールで自由に遊べる時間を確保した。親同士で会話を楽しむなどの交流が図られた。

(4) 山菜摘みハイキングでは、四つのグループに分かれ、スタッフが食べられる野草をレクチャーしながら歩いた。意外にたくさんの野草が身近にあることを知り、雨の中の散策を楽しんだ。

(5) 採取した野草で天ぷらを揚げる際は、油はねによるやけどを防止するため、スタッフが作業を行った。子供たちは少し離れた場所から鍋をのぞき、天ぷらが揚がる様子を興味深く観察していた。

(6) 天ぷらの揚がるタイミングがずれるため、一斉に食べることはできなかったが、うどんと一緒に自分たちで摘んだ野草の天ぷらを食べながら、満足そうに会話を楽しんでいた。

## 10 参加者の感想

- あいにくの天気でしたが、子供たちも元気に走り回り、存分に楽しめました。
- ふだん何気なく通っている道ばたにも、食べられる野草がたくさんあったのは新しい発見でした。これから散歩する楽しみが増えました。
- たくさんのご家族と交流でき、おまけに揚げたての天ぷらを食べ、親子ともども大満足でした。また参加します。

## 11 成果

- 野外炊飯では、複数家族を一つのグループにして活動したが、可能な限り同学年の子供がいる家族同士とするなど構成に配慮した結果、家族同士の新たな交流が生まれた。
- 野山に生えている野草を実際に食べてみることで、食べ物に対する興味・関心が高まったとともに、災害時の対応について家族で話し合う場面も見られるなど、火起こしの方法と合わせて、防災意識の向上のきっかけとなった。



けけどを防止するため、スタッフが作業